

平成19年4月27日
厚生労働省
農林水産省

米国産牛肉入りソーセージの誤積載が疑われる事例
に関する米国農務省の調査報告書の提出について

- 1 4月26日、米国産牛肉入りソーセージの誤積載事例（ジョバーズ・ミート・パッキング社）について、米国農務省から別添の原因と改善措置に関する調査報告書が提出されたので公表する。
- 2 当該調査報告書の概要は以下のとおりである。
 - ① 調査結果
今回の事案の原因は、輸出業者であるジョバーズ社が日本向け輸出用の当該製品を受け入れた際に、製品ラベルと購買仕様書を十分に確認しないまま、日本向けの出荷用コンテナに積載したものであり、当該業者の管理措置の不備にあった。
 - ② 改善措置
当該業者は、以下の改善措置をとった上で、それらを文書化した「輸出手続のための標準作業手順」を作成する。
 - ア 日本向けに輸出される加工製品の原材料に関する詳細な記載
 - イ 日本向け輸出用の加工製品を受け入れる際に、製品ラベルが購買仕様書及び日本の条件に合致しているかの点検
 - ウ 確認作業の完了を明記する「確認書」の作成
 - エ 出荷用コンテナ積載の前に、積み荷とウの確認書との照合
- 3 この調査報告書を受けて、厚生労働省と農林水産省は、当該業者からの食肉加工品の輸入手続を停止するとともに、米国政府に対し、食肉等を日本に輸出する全ての事業者に対する適切な出荷体制の徹底を要請した。
なお、当該業者に対する今後の対応については、米国政府からの改善状況の報告等を踏まえて判断することとする。

(仮訳)

調査

ジョバースミートパッキングカンパニー社、施設番号6251/P-6251

不適格牛肉の日本への輸出

2007年4月25日

概要

ジョバースミートパッキング社、施設番号6251/P-6251(カリフォルニア州ロスアンゼルス、フルーツランドアベニュー3336)からの日本向け積み荷に、鶏肉及び豚肉を原料としたサラミ及びボローニャ製品が含まれていたが、それらは、製品のラベルによると牛肉を含んでおり、したがって、日本向け輸出として不適格なものであった。米国農務省(USDA)の調査は、当該施設の管理監督が原因となり、日本向け輸出として適格な製品の貨物に不適格な製品が混入することを防ぐことができなかったという結論に達した。USDAは、ジョバース社の誤梱包の原因は、全ての製品の原材料の適格性を確認することができなかった同社の不適切な管理措置に原因があるとのジョバース社の見解に同意した。

改善措置には、以下が含まれている: 日本向け輸出用の加工製品の原材料に関する詳細記述を新たに義務化; 受入時に製品のラベルが日本の輸入条件に合致しているか確認するための、日本向け輸出用に購入された加工品のサンプリングによる点検; 確認作業の文書化; 日本向け輸出のためのコンテナ搭載前の出荷点検。

USDAは、施設の管理者が改善措置を完全に実行するまで、施設番号6251/P-6251からの輸出を認証することはない。

目的

USDAは、鶏肉及び豚肉を原料としているが、製品のラベルによると牛肉を含んでおり、日本向け輸出として不適格なセンチリオン(Centurion)ブランドのジェノバサラミ及びファームランド(Farmland)ブランドのボローニャが、日本への貨物に混入した件に関する一連の状況を評価するため、ジョバース社(施設番号6251/P-6251)の操業に関する調査を実施した。

背景

米国産食肉製品の輸出は、別個でありながら相互依存している3つの団体によって、円滑に進められている:

- 1) 米国食肉及び家きん肉産業

2) USDAの食品安全検査局(FSIS)

3) USDAの農業販売サービス局(AMS)

米国の食肉産業は、健康家畜のと殺及び健全で適切に表示され、粗悪(不適合)でない食品の製造に関して責任を負っている。当該産業は、米国の食品安全に関する基準に合致することに加え、輸出国によって課された全ての条件を満たさなければならない。米国の食品安全に関する基準及び輸入国の輸入条件の両方を満たした上でなければ、米国からの輸出に関してUSDAによる証明がなされることはない。

FSISは、食肉及び家きん肉製品の検査及び他の国への輸出の際の製品の証明に関して責任を負っている。2006年3月1日に発行されたFSIS Directive 9000.1, Revision 1, 「輸出証明」において、これらの責任に関して詳しい記述がされている。FSISは、その第一義的な規制的役割として、食肉及び家きん肉製品が粗悪なものではなく、国内及び国外における商取引における売買に関する全ての米国の食品安全基準を満たしているということに関する重要な判断を行う。この規制に関する業務は、FSISがUSDAの検査印を貼付した時に完了する。しかしながら、FSISの職員が輸出向け製品の証明を行うためには、検査が完了した後に追加的な確認が必要となる。

AMSは、特定の仕向先に対する牛肉の輸出を認証されている施設が、輸入国の追加的条件を満たせることを保証するために、EVプログラムの基準を作成するという責務を有している。これらのプログラムは、AMSによって認証、監視され、その費用はプログラムに参加している施設が負担している。

USDAの検査印及び、特定の仕向先への牛肉輸出のためのAMSのEVプログラムという組み合わせは、米国産の輸出用食肉及び家きん肉製品が、全ての米国の食品安全基準及び輸入国の輸入条件を満たしているという証明を保証するものである。

調査の結果

USDAは、ジョバーズ社(6251/P-6251)の**手続及び業務が、米国の輸出認証要件及び日本の輸入条件に合致しているかどうかを判断するために調査を実施した。結果は以下のとおり:**

1. AMSの役割及びEVプログラム

- 当該施設は、日本向け豚肉の輸出に**適格であるが、日本向け牛肉の輸出に適格ではなく、AMSの日本向けEVプログラムには含まれていない。**
- 従って、AMSには、これら**不適格な製品の輸出に関して役割はなかった。**

2. 製品のトレーサビリティ

- USDAの追跡調査(trace-back analysis)により、当該貨物の**全ての箱は、不適格な2品目を除いて適格品であり、輸出認証プロセスを通じて、日本向け輸出に適格であることが確認された。**

3. 不適格な牛肉製品の混入

- ジョバーズ社による**管理措置は、日本向け輸出に適格な製品の貨物に、不適格な製品が混入することを防げなかった。**

改善措置

ジョバーズ社(6251/P-6251)は、**内部調査を行い、不適格な製品の日本への輸出を引き起こした、又は一因となった状況を改善するために以下の措置を提案した。**

- ジョバーズ社は、出荷時の**ミス**の原因は、**不適切な管理措置であり、その結果として不適格な製品の混入が発生したことを確認した。**既存の管理措置は、**適切な確認のステップを欠いており(例えば、購買仕様書と製品ラベルの比較)、商品説明やセールス上の説明に頼っていたが、これらの説明は、製品についての十分な記載がなされていない可能性があり、その製造過程において使用された原材料に関する確認もなされていなかった。**
- **新たな管理措置が定められ、これらは既に実施されているか又は、実施していくこととなっている。**

内部調査:

1. ジョバーズ社は、日本向けに輸出される加工製品の**原材料に関する詳細な記載を義務付ける。**
2. ジョバーズ社は、日本向け輸出用として購入する加工製品が**ジョバーズ社に搬送さ**

れる際に、製品のラベルが購買仕様書及び、日本の輸入条件に合致しているか確認するためにサンプル抽出して点検する。

3. ジョバーズ社は、全ての日本向け輸出製品が、前述の確認作業を完了していることを明記するための特定の書式を作成する。
4. ジョバーズ社は、コンテナ積載の前に、積み荷が日本向けに適用される確認文書と整合しているか点検する。

措置のステップ:

1. ジョバーズ社は、「輸出のための標準作業手続き」の作成に当たり、現行の輸出手続きのレビュー結果を使用した。この「輸出のための標準作業手続き」には、現行条件のレビュー、製品の検査及びその文書化、並びに手続きの再評価を毎年行うこと等が含まれている。
2. 「輸出のための標準作業手続き」の一部として、ジョバーズ社は、確認プロセスの手続きを明記するための書式を作成した。
3. 「輸出のための標準作業手続き」を実施し、これに基づいて適当な期間操業した後、ジョバーズ社は、日本向けに適格な製品の輸出手続きの確認をUSDAに要請する。

結論

今回の調査のUSDAの結論は、以下のとおり:

- 2つの製品は牛肉を含んでおり、日本向け輸出としては適格なものではなかった。
- 非適格品は検査済みであり、USDAにより食用として合格したもので、輸出時点では、米国内で消費するには安全かつ健全とされるものであり、ほとんどの国際的な市場において適格とされるものであった。
- 積み荷にあったその他の製品は、日本向け輸出としては適格とされるものであった。
- USDAは、日本向け輸出積み荷中に非適格品を混載させた原因は、不適切な管理措置にあり、その結果、全ての製品の原材料の適格性を確認することが出来なかったというジョバーズ社の見解に同意する。
- USDAはジョバーズ社が実施・計画している改善措置を再検討し、同措置が出荷の際のミスの原因に対処し、解決するのに十分なものであると判断した。
- ジョバーズ社は、上述した全ての改善措置の完了に伴い、日本向け輸出を再開する準備がある。
- 当分の間、FSISはジョバーズ社の日本向け輸出とされる、いかなる製品の証明書についても署名を行わない。
- 施設番号P-2122ファームランドフーズ社(カンザス州ウィチタ、S. シェリダン2323)、及び施設番号1168ファームランドフーズ・カーランド支社(マサチューセッツ州、スプリ

ングフィールド、カーランドドライブ20)は、ジョバーズ社向けに販売した製品がどのように使用されるかについて、承知しておらず、日本向けにジョバーズ社が不適格な製品を輸出したことにに関して非はないと、USDAは結論づける。ジョバーズ社が、不適格な製品を卸売業者から購入し、ファームランド社は当該取引に関する知見も持っておらず、またそれに関して何ら果たすべき役割を有していなかった。



INQUIRY

Jobbers Meat Packing Company, Inc., Establishment 6251/P-6251
Export of Ineligible Beef to Japan

April 25, 2007

EXECUTIVE SUMMARY

A shipment to Japan from Jobbers Meat Packing Company, Inc., Establishment 6251/P-6251, 3336 Fruitland Avenue, Los Angeles, California, included salami and bologna products made with chicken and pork, which according to the label, contained beef and, thus, were not eligible for export to Japan. An investigation by USDA concluded that the establishment's management controls failed to prevent inclusion of non-conforming product in shipments of products otherwise eligible for export to Japan. USDA agrees with Jobbers that the root cause of their packing error was inadequate management controls that resulted in a failure to verify the eligibility of all product ingredients.

Corrective actions include new requirements for detailed product descriptions relative to product formulation for processed products to be exported to Japan; representative sampling of processed products purchased for export to Japan at time of delivery to the establishment to verify product labeling meets Japan's import requirements; documentation of verification activities; and shipment examination prior to loading containers for export to Japan.

USDA will not certify exports to Japan from Establishment 6251/P-6251 until plant management has fully implemented the corrective actions.

PURPOSE

The United States Department of Agriculture (USDA) has conducted an inquiry into the operations of Jobbers Meat Packing Company, Inc., Establishment 6251/P-6251, 3336 Fruitland Avenue, Los Angeles, California, in order to assess events surrounding its inclusion in a shipment to Japan of a Centurion Brand Genoa Salami and a Farmland Brand Bologna made with chicken and pork that, according to the label, contained beef and were not eligible for export beef to Japan.

BACKGROUND

The export of U.S. meat products to other countries is facilitated by the activities of three separate but interdependent entities:

- 1) the U.S. meat and poultry industry,
- 2) USDA's Food Safety and Inspection Service (FSIS), and
- 3) USDA's Agricultural Marketing Service (AMS).

The U.S. meat industry is responsible for the slaughter of healthy animals and preparation of food products that are wholesome, properly labeled, and not adulterated. In addition to meeting U.S. food safety standards, the industry must meet all requirements imposed by importing countries. Both U.S. food safety requirements and the trade requirements of importing countries must be met before a product can be certified by USDA for export from the United States.

FSIS is responsible for the inspection of meat and poultry products and the certification of products for export to other countries. FSIS Directive 9000.1, Revision 1, "Export Certification," published March 1, 2006, provides an in-depth description of these responsibilities. The primary regulatory role of FSIS is to make critical determinations that meat and poultry products are not adulterated and meet all U.S. food safety standards for sale in domestic or international commerce. This regulatory activity is complete when FSIS applies the USDA mark of inspection. However, additional verifications are necessary after inspection is complete in order for FSIS officials to execute certifications of product for export.

AMS is responsible for developing EV Program standards to ensure that establishments certified to export beef to certain destinations can meet the additional requirements of importing countries. These programs are approved and monitored by AMS for a fee, which is paid by participating establishments.

The combination of a USDA mark of inspection and – for beef exports to certain destinations, an AMS EV program – provide assurance that U.S. meat and poultry products offered for export may be certified as meeting all U.S. food safety standards and importing country trade requirements.

RESULTS OF INQUIRY

USDA conducted an inquiry to determine whether the procedures and actions of Jobbers Meat Packing Company, Inc., Establishment 6251/P-6251, complied with U.S. export certification requirements and the import requirements of Japan. Results are as follows:

1. Role of AMS and EV Program

- While the establishment is eligible to export pork to Japan, it is not eligible for export of beef and is not included in the AMS EV program for Japan.
- Thus, AMS had no role in the export of these ineligible products.

2. Product Traceability

- USDA trace-back analysis confirmed all boxes in the shipment—with exception of the two ineligible products—were conforming product and were verified during the export approval process as eligible for export to Japan.

3. Inclusion of Ineligible Beef Products

- Jobbers Meat Packing Company, Inc., management controls failed to prevent inclusion of non-conforming product in a shipment of products otherwise eligible for export to Japan.

CORRECTIVE ACTIONS

Jobbers Meat Packing Company, Inc., Establishment 6251/P-6251, has conducted an internal review and proposed the following actions to correct conditions that caused or contributed to the export of ineligible product to Japan.

- Jobbers has identified the root cause of its shipping mistake as inadequate management controls that resulted in the inclusion of ineligible products. The existing controls lacked the appropriate verification steps (e.g., comparison of product labels to purchase specification), and relied on product/commercial descriptions that may or may not fully describe the product without verifying ingredients used in the manufacture of the products.
- New management controls have been developed and have been or will be implemented:

Internal Review:

1. Jobbers will require detailed product descriptions related to product formulation for processed products to be exported to Japan.
2. Jobbers will examine a representative sample of processed products purchased for export to Japan at the time they are delivered to Jobbers to verify that product labeling is in accordance with its purchase specifications and Japan's import requirements.

3. Jobbers will create specific forms for documenting the completion of its aforementioned verification activities for all exports to Japan.
4. Jobbers will examine shipments prior to loading in a container for consistency with the applicable Japanese verification documentation.

Action Steps:

1. Jobbers has used the results of the review of its current export procedures to create a *Standard Operating Procedure for Conducting Exports* including, but not limited to: review of current requirements, examination of products and documentation, and an annual reassessment of procedures.
2. As part of the *Standard Operating Procedure for Conducting Exports*, Jobbers has created internal forms for documenting the procedures of the verification process.
3. Upon implementation, and after a reasonable period of operation, of the *Standard Operating Procedure for Conducting Exports* Jobbers will request a verification by USDA of their procedures for exporting appropriate product to Japan .

CONCLUSIONS

USDA conclusions from this inquiry are as follows:

- The two products containing beef were not eligible for export to Japan.
- The ineligible products were inspected and passed by USDA for human consumption and were at the time of export a safe and wholesome product fit for consumption in the United States and eligible for export to most international markets.
- All other products in the shipment were eligible for export to Japan.
- USDA agrees with Jobbers that the root cause for inclusion of ineligible product in an export shipment to Japan was inadequate management controls that resulted in a failure to verify the eligibility of all product ingredients.
- USDA has reviewed the corrective actions implemented and planned by Jobbers Meat Packing Company, Inc., Establishment 6251/P-6251, and finds them sufficient to address and resolve the root cause of the shipping mistake.
- Jobbers is prepared to resume exports to Japan upon completion of all corrective actions set forth above.
- In the interim, FSIS will not sign certificates for Jobbers to export any product to Japan.

- USDA further concludes that P-2122, Farmland Foods, Incorporated, 2323 S. Sheridan, Wichita, Kansas and Est. 1168, Carando/ Division of Farmland Foods, 20 Carando Drive, Springfield, Massachusetts had no knowledge of how the products sold to Jobbers would be used and are blameless in the export by Jobbers of ineligible products to Japan. Jobbers purchased the ineligible products from a wholesale distributor and Farmland had no role in or knowledge of that commercial transaction.